

共産党区議団が新型コロナ対策の要望書No2提出 (詳しくは裏面)

補正予算

PCR検査センター 子どもへの昼食代支給 など 実現

検査の流れは、①かかりつけ医に電話で相談、②ドクターがセンターに直接予約、③PCR検査センターで検査、④結果は翌日、⑤陽性となった場合、保健所が民間の救急車で医療機関に

PCR検査の流れ

品川区は、5月12日からPCR検査センターを医師会に委託し開設。週3回・一日2時間(13時半〜)、検査数20件を完全予約制で行います。



品川区のPCR検査センター (区役所庁舎駐車場内)

5月12日臨時区議会が行われ、一人10万円の特別定額給付金、区独自に予算化したPCR検査センター運営費や子どもへの昼食代補助、介護労働者への支援金などの補正予算が全会一致で可決。区民の皆さんの声を議会で取り上げ、要望書として提出してきた一部が実現しました。これからもご意見・ご要望をお寄せ下さい。

ドクターの判断でPCR検査が可能に

これまでは37.5℃以上が4日間等の基準で検査がなかなか受けられませんでした。今度は必要かどうかの判断は、あくまでもドクターであり、そこに縛りはなくあります。これまで何度も求めてきたPCR検査センターが、品川でもついに実現しました(予算は6559万円)。

搬送、⑥そこで入院か施設での隔離となるかを決めるとのことです。
軽症でやむを得ず自宅療養となる人などへ貸し出すパルスオキシメーター(動脈酸素飽和度と脈拍数測定装置)を5000台購入することになりました。

子ども(就学援助対象)の 昼食代支給 (区独自)

共産党が議会や緊急要望で求め続けてきた就学援助受給家庭への子どもの昼食代支給が実現しました。

- 支給額：1食500円、月20日分。4月・5月分
- 対象者数：小中学生合わせて4064人
- 予算額：8128万円

新型コロナによる収入減で家賃が払えない人へ 住居確保給付金 (家賃)

新型コロナによる休業等で収入減となり、離職や廃業と同程度となったため、家賃が払えず住居を失う恐れが生じている方にも家賃相当額を支給されるよう拡充。

- 対象者：①離職・廃業から2年以内、②休業等で収入減少し離職等と同程度の方。
- 支給期間：原則3か月(最長9か月)
- 支給額(月)＝単身世帯：5万3700円、2人世帯：6万4000円、3人世帯：6万9800円
- 支給要件(以下を超えないこと)
- 収入(目安)＝単身世帯：13.8万円、2人世帯：19.4万円、3人世帯：24.1万円
- 世帯の預貯金(目安)＝単身世帯：50.4万円、2人世帯：78万円、3人世帯：100万円
- 求職活動等要件：求職活動を行うこと
- ★問い合わせ：暮らし・しごと応援センター(区役所3階) ☎5742-9117(月～金)9～17時
- ★申請書は区のホームページからダウンロードでき、郵送で申請可能です。
- 予算額：2億4680万7000円

1人10万円の給付金 (特別定額給付金)

- 対象者：4/27日に品川区に住居登録ある人
- 実施時期*オンライン＝申請5/1～、給付開始5/18～
- *郵送＝申請書発送5/21～(区送付の申請書に記入・押印後、必要書類を同封し返送)、給付開始5/29～
- 問い合わせや相談は品川区コールセンターへ ☎03-5742-7803 (AM9時～PM5時(土日除く))
- DV被害者、ホームレス・ネットカフェ生活の方など、現在住民票が品川になくても品川で生活されている人は給付の対象です。生活保護の方も収入認定されずに給付されます。
- 対象者：40万6158人 予算：411億7000万円

これから申請の方は郵送の方が早いそうです

介護労働者に支援金 (区独自)

1人25000円…敬意と感謝を込めて

事業の継続が求められ、感染リスクの中で日々高齢者や障害者の支援をされている介護労働者に敬意と感謝の意を表すとともに継続支援の一助として支給されることになりました。

- 支援金：1人当たり約2万5000円
- 対象者は介護・障害者施設で働く方々
- 介護サービス：3,600人(予算額：1億4,600万円)
- 障害福祉サービス：800人(予算額：3200万円)

その他、補正予算で通った主な事業(国・区独自)